

西川町 議会だより

2025

No.134

10.15



9月22日(月)秋晴れの恵まれた晴天の下、西川小学校5年生が田植えから育てた黄金色に輝いた学校田の稲刈りをしました。

第3回定例会	2頁
令和6年度のお金の使い方は	4
6人の議員が町政をたずね	8
特集ハラスメント疑惑調査特別委員会...	12
わたしたちのすっだいこと！	16



※上記二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、議会ホームページにアクセスします。

令和 7 年第 3 回定例会に提出された主な議案

[条例案等]

議案番号	件 名	議案の主な内容
同意第 3 号	西川町教育委員会委員の任命	大泉奈緒子さん（海味）が9月30日をもって任期満了となるので引き続き任命する。
議第 41 号	令和7年度山村留学等受入環境整備事業（コーポ睦合外壁補修・屋外防水等第一期工事）請負契約の締結	令和7年度コーポ睦合外壁補修・屋外防水等第一期工事について、升川建設株式会社と請負契約を締結する。
議第 42 号	地方公務員の育児休業等に関する一部改正関係条例の設定	地方公務員の育児時間の多様化及び育児に係る両立支援制度を利用しやすい勤務環境整備を図るため。
議第 47 号	令和7年度西川中学校体育館空調設備設置工事請負契約の締結	西川中学校体育館空調設備設置工事について、株式会社五百川屋商事と請負契約を締結する。
議第 48 号	財産（中村ポンプ庫小型動力ポンプ付普通積載車両）の購入	小型動力ポンプ付普通積載車両（4 t トラック）1 台を株式会社長谷川ポンプ製作所から購入する。

ここに注目！

ここに注目！

ここに注目！

【令和7年度各会計補正予算】

議案番号	会 計	補正の主な内容	補正額	補正後の予算額
議第 43 号	一般会計（第 2 号）	・ハラスメント疑惑調査特別委員会設置に伴う経費 198 万円	1億 3615 万円	92億 2472 万円
		・ハラスメント等第三者相談窓口の設置や第三者調査委員会アンケート業務等追加 570 万円		
		・除雪車両の整備費や町道浦家西浦線舗装補修工事の追加 1700 万円		
		・令和7年3月28日に水沢地内で発生した土砂災害復旧工事に伴う負担金 1392 万円		
		・フェリシア月山カヌー艇庫の雪庇処理設備の設置、カヌー事業環境整備事業費補助金、高校生等就学支援金などの追加 4479 万円		

議第 44 号	国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	総務費 15 万円	15 万円	1億 8139 万円
議第 45 号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	総務費 3 万円	3 万円	1億 847 万円
議第 46 号	介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	総務費 115 万円 基金積立金 552 万円 諸支出金 1912 万円	2579 万円	7億 8139 万円

（万円単位表示にするため万円以下の端数を調整）

コーポ睦合の外壁が
リニューアルされます！



▲コーポ睦合修復完成イメージ

今定例会における主な議案の詳細及び議案に関する質疑の一部を紹介します。

ここに注目

コーポ睦合改修

問 コーポ睦合の工事は、どのような内容ですか。

答 山村留学等受入環境整備事業として、外壁補修・塗装・水切り構造対策・屋上防水工事・階段手すり設置のコーポ睦合改修工事を第一期、第二期に分けて実施します。財源は新しい地方経済・生活環境創生交付金、賃貸集合住宅管理基金です。

エアコン設置

問 西川中学校のどこにエアコンを設置しますか。

答 近年の猛暑による熱中症リスクの軽減・安全な運動場環境提供と避難所の機能整備として西川中学校体育館にエアコン8台を設置します。

消防積載車更新

問 中村ポンプ庫の消防積載車更新は、故障それとも老朽化によるものですか。また代車などの対応はしていますか。

答 老朽化による更新で4tトラックをベースに、後部ボディに出力22kw以上の小型ポンプを積載し、箱型架装を行います。代車対応は行っていない。



カヌーレイン維持

問 月山湖カヌーレーンのコースワイヤーが絡まって使えなくなった原因を断定できなかったようですが、補修・撤去の費用はいくらでしたか。

答 原因は特定できないようなことを招かないようにするには、こまめな撤去・設置が今後最も適切な管理と想われます。

撤去費用は330万円です。補修に200万8千1千円、再設置費用は、別途計上になります。なお、1000mレインを活用した一つの大会誘致により2000万円以上の経済効果であることをご理解ください。

令和7年
第3回
定例会

第3回定例会が9月3日から18日までの会期で開催されました。町からは人事案件や一般議案・条例案・補正予算などの19議案が提出され、慎重に審議した結果、すべて賛成多数で可決しました。一般質問は6人の議員が10件の項目について質問しました。令和6年度の各会計決算の認定については、本誌4ページから7ページをご覧ください。

西川町議会だより 第134号

令和6年度のお金の使い方は



▲花火大会

問 観光課・かせぐ課
サステイナブルツーリズム事業は持続可能な観光であり、あと2年事業が残っています。

答 令和6年度の花火大会は交付金と協賛金合わせて2千万円を超える金額で実施しました。今年度は新しい交付金を使って実施しました。

問 にしかわ夏まつり
花火大会は、デジタル田園都市国家構想交付金のサステイナブルツーリズム事業を活用して開催しましたが、数年間続く交付金ですか。

答 令和6年度は、デジタル田園都市国家構想交付金のサステイナブルツーリズム事業を活用して開催しましたが、数年間続く交付金です。

花火大会



▲お茶のみ会（百歳体操）

問 いきいきお茶のみ会
会の補助の内容をお聞きます。また国や県からの資金を活用しているのですか。

答 健康福祉課
サロンの新規立ち上げには初年度100万円、次年度50万円の補助があります。お茶のみ会を開催した月には1万円の活動補助があります。町がNFTや視察料で積み立てた高齢者支援等補助金を使っています。

いきいきお茶のみ会

問 健康福祉課
サロンの新規立ち上げには初年度100万円、次年度50万円の補助があります。お茶のみ会を開催した月には1万円の活動補助があります。町がNFTや視察料で積み立てた高齢者支援等補助金を使っています。

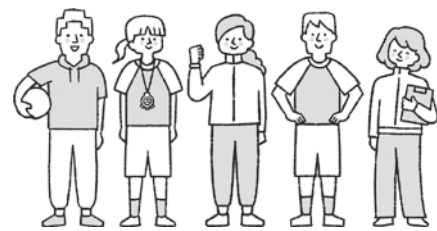
答 健康福祉課
サロンの新規立ち上げには初年度100万円、次年度50万円の補助があります。お茶のみ会を開催した月には1万円の活動補助があります。町がNFTや視察料で積み立てた高齢者支援等補助金を使っています。



問 道のデジタル田園都市国家構想交付金3千万円を活用して道路台帳デジタル化の整備を行いました。メリットは何ですか。

答 建設水道課
道路台帳は国からの交付税を受けるには必要なものです。デジタル化によりパソコンで図面を書けるようになり、建築確認が容易になったり、業者の方は役場に出向かなくてもホームページの道路網図で確認して、必要な詳細図を請求できるようになりました。

道路台帳



部活動指導員

問 中学校管理運営に要する経費の中に部活動指導員2人分の報酬がありますが、活動はどのようなものですか。

答 まなぶ課
県の部活動指導員配置促進事業補助金を活用して、2人配置しています。年間1人あたり210時間の上限があり、一日あたり2時間の活動をしています。勤務内容は先生の代わりに部活動を見守っています。

問 中学校管理運営に要する経費の中に部活動指導員2人分の報酬がありますが、活動はどのようなものですか。

答 まなぶ課
県の部活動指導員配置促進事業補助金を活用して、2人配置しています。年間1人あたり210時間の上限があり、一日あたり2時間の活動をしています。勤務内容は先生の代わりに部活動を見守っています。

問 設計と建設両業者との打ち合わせを重ねる中で、設計ミスを確認するものではありませんでした。設計時点では、想定は出来なかったと説明を受けました。

答 設計と建設両業者との打ち合わせを重ねる中で、設計ミスを確認するものではありませんでした。設計時点では、想定は出来なかったと説明を受けました。

問 建物ができただけで、事故が起きるの設計ミスかと思うのですが、事故の時点で業者へ設計ミスを指摘しましたか。

答 設計と建設両業者との打ち合わせを重ねる中で、設計ミスを確認するものではありませんでした。設計時点では、想定は出来なかったと説明を受けました。

問 観光課・かせぐ課
屋根の上の積雪が最大3.5mに耐えられ、雪下ろしをしないで春を迎えられる設計を進めてきました。雪庇の落下は想定できませんでした。

答 観光課・かせぐ課
屋根の上の積雪が最大3.5mに耐えられ、雪下ろしをしないで春を迎えられる設計を進めてきました。雪庇の落下は想定できませんでした。

カヌーセンター

問 工事期間中屋根から雪庇が落下してシャッターが破損する事故が起きました。設計を依頼するうえで耐雪にはどんな条件を付けたのですか。

答 観光課・かせぐ課
屋根の上の積雪が最大3.5mに耐えられ、雪下ろしをしないで春を迎えられる設計を進めてきました。雪庇の落下は想定できませんでした。

令和6年度の各会計決算の認定は、決算特別委員会（議長と議選監査委員を除く7名で構成）での審査に付託されました。

決算特別委員会は、9月8日から4日間にわたり各課の決算説明を受け、審査しました。その主な内容をご紹介します。

決算 令和6年度会計 特別委員会 【各課説明】

国庫補助金

問 国庫補助金の「豪雪地帯安全確保緊急対策交付金」574万円は、どのように使われましたか。

答 企画財政課
健康福祉課で実施しています。除雪ボランティア等に貸し出す除雪用具の購入や防雪対策の計画を立てる事業を行うための補助金です。



問 企画財政課
健康福祉課で実施しています。除雪ボランティア等に貸し出す除雪用具の購入や防雪対策の計画を立てる事業を行うための補助金です。

答 企画財政課
健康福祉課で実施しています。除雪ボランティア等に貸し出す除雪用具の購入や防雪対策の計画を立てる事業を行うための補助金です。



▲LED防犯灯

問 LED防犯灯修繕
補助金を活用する場合に制約はありますか。

答 総務課
町内会などがすでに設置しているLED防犯灯の修繕に係る経費のうち、器具一式の費用や取り換え工事費用が対象になる事業で、令和6年度は一件の利用がありました。金額の半額が補助され上限はありません。

問 総務課
町内会などがすでに設置しているLED防犯灯の修繕に係る経費のうち、器具一式の費用や取り換え工事費用が対象になる事業で、令和6年度は一件の利用がありました。金額の半額が補助され上限はありません。

答 総務課
町内会などがすでに設置しているLED防犯灯の修繕に係る経費のうち、器具一式の費用や取り換え工事費用が対象になる事業で、令和6年度は一件の利用がありました。金額の半額が補助され上限はありません。



▲コンビニ交付

問 町民税務課
コンビニ交付は住民サービスと窓口業務軽減の両方の意味があります。住民票261件、印鑑証明204件の利用がありました。手数料はコンビニに支払うのではなく地方公共団体情報システム機構（ジェイ・リス）に支払っています。

答 町民税務課
コンビニ交付は住民サービスと窓口業務軽減の両方の意味があります。住民票261件、印鑑証明204件の利用がありました。手数料はコンビニに支払うのではなく地方公共団体情報システム機構（ジェイ・リス）に支払っています。

コンビニ交付

問 証明書のコンビニ交付の事業は、町の経費削減目的なのかそれとも住民サービスが目的なのか。

答 町民税務課
また委託手数料の支払いはどのように行っていますか。



▲不要果樹

不要果樹伐採事業

問 鳥獣被害対策事業費補助金の中に不要果樹伐採事業があり、実績はどうでしたか。

答 鳥獣被害対策事業費補助金の中に不要果樹伐採事業があり、実績はどうでしたか。

問 鳥獣被害対策事業費補助金の中に不要果樹伐採事業があり、実績はどうでしたか。

答 鳥獣被害対策事業費補助金の中に不要果樹伐採事業があり、実績はどうでしたか。

問 地域おこし協力隊は町雇用が11人で、外部委託が7人です。また集落支援員は町雇用が17人で、外部委託が9人いますが、外部委託はどのようになっていますか。

答 つなぐ課
地域おこし協力隊、集落支援員どちらの事業も、活動する方の活動内容が合致していることを条件に、外部の会社や所屬しながらでも協力隊や支援員としての活動ができます。特別交付税の枠があり、協力隊は報酬320万円、活動費200万円、支援員は専任型485万円、兼任型40万円が上限です。町雇用には会計年度任用職員の報酬として、外部委託先には特別交付税の額を支払い、人件費や活動の管理を委託しています。

協力隊・支援員

問 地域おこし協力隊は町雇用が11人で、外部委託が7人です。また集落支援員は町雇用が17人で、外部委託が9人いますが、外部委託はどのようになっていますか。

答 つなぐ課
地域おこし協力隊、集落支援員どちらの事業も、活動する方の活動内容が合致していることを条件に、外部の会社や所屬しながらでも協力隊や支援員としての活動ができます。特別交付税の枠があり、協力隊は報酬320万円、活動費200万円、支援員は専任型485万円、兼任型40万円が上限です。町雇用には会計年度任用職員の報酬として、外部委託先には特別交付税の額を支払い、人件費や活動の管理を委託しています。

堅実な財政運営維持

令和6年度の一般会計、特別会計、事業会計の10会計について、決算特別委員会での審査を経て、9月18日の本会議で審議し、全会計決算を認定しました。議会だよりでは、知っておくべき決算のポイントを紹介します。

令和6年度 決算の ポイント

財政の指標などを確認

- ①標準財政規模 34億4695万円
一般財源の標準的な大きさを示す。
- ②財政力指数 0.22
1に近いか超えるほど財政に余裕がある。
- ③経常収支比率 85.5%
100%に近いほど自由に使えるお金が少ない。
- ④実質公債費比率 11.2%
25%以内は健全な状態にあることを示す。
- ⑤将来負担比率 0%
350%以内は健全な状態にあることを示す。
- ⑥基金残高合計 39億3860万円
町の貯金。様々な基金がある。

歳入総額 86 億 2239 万円

- ①町税全体で、2161 万円の減少
※個人町民税や固定資産税の減など
- ②地方交付税が 2 億 2749 万円の増加
※地域おこし協力隊や外部人材の増など
- ③国庫支出金が 1 億 3344 万円の増加

一般会計歳入の
ポイント

歳出総額 80 億 8406 万円

- ①義務的経費が 8372 万円の増加
※一般職員及び会計年度任用職員の増加など
- ②物件費が 1 億 1077 万円の減少
※タブレット端末配付事業の終了など
- ③普通建設事業費が 2 億 4786 万円の増加
※プレジャー対応型拠点づくり事業など

一般会計歳出の
ポイント

行政経費の節減と効率化を

町監査委員の決算審査意見【抜粋】

町の財政状況

①一般会計歳入

町の独自財源である町税は、個人住民税は、令和6年度に実施された定額減税の影響で収入額が減少し、法人町民税は、企業の業績に改善が見られたことにより増加しましたが、固定資産税は、建物の減があったことなどにより減少となりました。地方交付税、国庫支出金、ふるさとづくり寄附金の増もあり、前年度を上回る結果となりました。

②一般会計歳出

歳出面においては、豪雨災害等に伴う災害復旧事業費やタブレット端末配付事業の終了などによる減少がありました。また、プレジャー対応型拠点づくり事業や月山湖カヌースプリント競技場施設整備事業の増加により、全体的に増加となりました。

今後の財政運営

人口減少と少子高齢化が進む中において、取り組みをしなければならぬ課題も多く、財政運営については、今後とも厳しい状況が続くものと見込まれます。自主財源である町税については、増収対策や的確な賦課、徴収に努めるとともに、国、県に対しては、地方交付税など安定的な財政運営に必要な財源が確保できるように、所要の措置を講じることを強く働きかける必要があります。歳出については、今後も高齢者医療など社会保障費や社会インフラの老朽化対策、新規施設の維持管理費などが見込まれるほか、頻発する自然災害の復旧など、想定外かつ突発的な支出を要する事態が考えられます。このことを踏まえ、選択と集中を図り、事務事業に関する点検や公共施設等の適正な管理など、行政経費の節減効率化に一層努めてください。

また、協議会等を活用した住民サービスの内容については、予算、決算及び事業内容が明確になるよう説明を行ってください。

西川町監査委員

古沢 美代子
荒木 俊夫

決算 令和6年度会計 特別委員会 【審議・採決】

9月16日、議場で決算特別委員会を開催し、令和6年度の各会計決算の認定について、審議・採決を行いました。
その主な質疑の内容を紹介します。

高齢者安心環境事業

問 高齢者安心環境事業のボランティアコーデイネート事業は社会福祉協議会が実施した事業であり、補助金を出しています。

答 この事業は社協からの提案があつて実施した事業なのででしょうか。町からの依頼で実行した事業なのですか。

答 健康福祉課ボランティアコー

デイネート事業は社会福祉協議会が行うというところで実施しています。町が後押しをして支えるために補助金を出しています。



老人福祉センター

問 令和6年度当初は「社会福祉協議会へは補助金は出さない。人件費は集落支援員の形で助成する」との説明でした。その後800万円を貸付したとの説明でした。決算書では900万円の補助金を計上し、執行は268万円でした。予算に対して3割程だったのはどうしてですか。

答 健康福祉課老人福祉センターの運営補助金は補正予算でいったんは貸付金で計上しましたが、社協との話し合いの上で補助金に組みかえたものです。

老人福祉センターが町へ譲渡されたことにより、それまでの支出です。

農村漁村振興交付金

問 農村漁村振興交付金を活用して、西川町山菜王国推進協議会に令和4年度より3年間、園地借上げなどの運営資金として交付していましたが、6年度で終了した後、借用した園地はどうなっていますか。

答 また、今後の予算はどうなるのですか。

答 みどり共創課

令和6年度で農村漁村振興交付金は終了しましたが、山菜園地の管理は西川町総合開発（株）で継続します。3年間で収益化が可能なのか実証したものであつて、令和7年度農村漁村振興交付金からの支出はありません。



▲わらび園

子育て支援住宅

問 みどり団地は照明器具やエアコンが設置されており、家賃も低額に設定されています。

子育て支援住宅をみどり団地に限定するのはどうしてですか。

答 建設水道課

みどり団地は町に若者世代を定住させることを目的として施策を打っていました。町営住宅・アパートを建設する時には設置条例を設けて建設しています。みどり団地は以前に設置した団地と違い、若者が入居することを意識した条例になっていきます。

今後は条例の定義を細かくしないでまとめたいと考えています。

集落支援員外部委託

問 集落支援員の外部委託先を選ぶ基準はあるのですか。

答 つなぐ課

デザインや町営バスの運転など、役場職員にスキルがなく、すぐに実行できない事業をお願いしています。

また、公益性があるか、公平性があるかをもとに検討しています。特定業界に対して調整しているのではなく、要望のあった先と個別に対応しています。

国からは使い方の規制がなく委託型でも実施していましたが、令和8年度以降は町の会計年度任用職員の取り扱いで行います。



一般質問

そまが聞きたい

6人の議員が町政をたずねます

町政全般にわたり、その課題等について町の考え方や疑問をたずねるのが一般質問です。
今回の第3回定例会では6人の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお伝えします。

質問事項（発言順）

佐藤 大 議員……………P 9

- 1 小学校等を活用した関係人口づくりについて
- 2 「間沢の菊まつり」の支援について

佐藤 仁 議員……………P 9

- 1 西川町国土強靱化地域計画の現状について

荒木 俊夫 議員……………P10

- 1 町立病院の運営と健診について

飯野 幹夫 議員……………P10

- 1 道の駅にしかわ改修工事計画について
- 2 町営造林事業の伐採について

佐藤 光康 議員……………P11

- 1 令和5年度のAIチャット介護予防サービス開発事業について
- 2 町の高齢者福祉政策について

大泉 奈美 議員……………P11

- 1 公民館、町内会、区などが管理する集会施設の維持について
- 2 子ども達のスポーツ環境の充実を

※第3回定例会の傍聴者は延べ13人で、議会中継でご覧いただいた皆さん、ありがとうございました！

さとう だい 佐藤 大 議員



小学校等を活用した関係人口づくりは

保育園・小学校留学

問 保育園留学・小学校留学の現状と、方向性をお聞きます。

答 西川保育園の強い給食、広い遊び場、先生方のきめ細やかな対応や気遣いなどが上げられます。今年度は4か月で11家族15人の利用があります。
今後は、町民と交流するプログラムを検討し、他地域との差別化を図ります。

小学校留学は7月から3家族4人が体験します。

「間沢の菊まつり」の支援は

問 間沢の菊まつり（西川の菊まつり）の支援を再開したのはなぜですか。また支援の内容は何ですか。

答 実行委員会との対話を通して、会場場所・財源確保・役割分担が整理され、また国の交付金が採択されたことにより、持続可能な菊まつりの開催が可能になりました。
会場となる町民体育館東側に電動リモコン式屋根テントを設置します。大臣表彰の手続き作業を行います。また金銭面での支援も考えています。

さとう ひとし 佐藤 仁 議員



西川町国土強靱化計画の現状は

町有施設の耐震化

問 庁舎等町有施設の耐震化の現状をお聞きます。

答 一次避難所も含め町有施設は、239か所あり、そのうち本道寺地区集会センターが耐震化になっていない。今後地元との対話が必要ですが、同センターの代替避難所として、月岡ふれあい会館が想定されます。

食料・資機材の備蓄

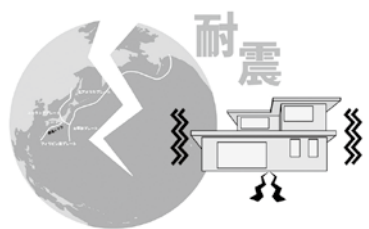
問 災害時に防災拠点となる施設の食料をはじめ、資機材（ベッドやトイレ・間仕切り）等の整備状況をお聞きます。

答 指定避難所における乾燥米などの備蓄品の他に、あいべ等にクラッカー1400食・シチュー320

非構造部材の耐震化

問 天井や外壁・窓ガラスなどの非構造部材の耐震対策の現状をお聞きます。

答 公共施設の役場や学校など、特に病院において必要性を認識していますので、今後具体的な対策を講じて進めていきます。



耐震



あらかし お
荒木 俊夫 議員

町立病院の運営と町の健診は

健診の状況

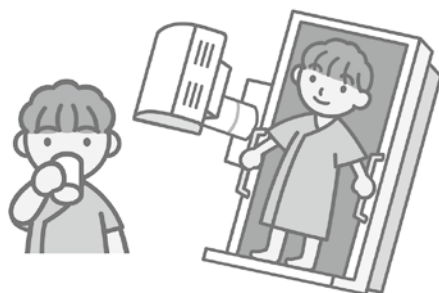
問 町の健康診査の受診率はどうなっていますか。

答 町の県内での受診率は、国民健康保険で2位、後期高齢者保険で1位です。町立病院での受診者数は、国保で6割、後期高齢で8割になっています。

町立病院での健診

問 町立病院の健診の特徴はありますか。

答 希望した日に短時間で受診できます。また、個人負担も低額になっています。



西村山の新病院

問 河北・寒河江両病院の統合による新病院への参画と、町立病院についてどう考えていますか。

答 現時点で新病院への参画は決まていません。現在の町立病院を存続していきたいと考えていますが、町立病院の経営状況を見ながら必要があれば新病院への参画について検討していきます。

いいの みきお
飯野 幹夫 議員



道の駅にしかわの改修工事計画は

計画の見直し

問 3月末に水沢トンネル付近で土砂崩れが発生し、高速道路が通行止めとなりました。建設予定のビール醸造所の計画見直しはありますか。

答 今年度、新庄河川事務所が用地調査を行い、砂防堰堤工事開始予定。令和8年以降の拠点整備は、安全面を考慮し、施設新築から既存施設の模様替えに変更します。また、公園整備は今年実施します。

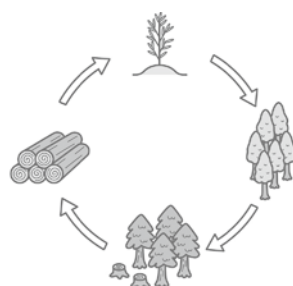


▲ビール工場

町営造林の活用

問 今年度、睦合地内の町営造林地の皆伐、再造林事業を行ったが、町営造林490.6haを今後どのように活用していきますか。

答 山形県森林施業支援事業補助金を活用して昭和35年に植栽した14haで行いました。今後は、各地区と伐期を迎えた町営造林の場所や路網状況などを確認し、優先順位などを決定して、各地区と相談会を行います。



令和5年度A―チャット介護
予防サービス開発事業は

事業の目的

問 この事業の目的は何ですか。

ブレットを配布し、A―チャットボットを開発して運動習慣を身に付けることで、高齢者の健康寿命を伸ばす事業です。

答 国のデジタル田園都市国家構想交付金を使い、各世帯にタ

町の高齢者福祉政策は

人材不足

問 町は、町内介護事業所の業所の人材不足をどのように認識していますか。

答 町内介護事業所では、若い新規職員の採用または定年退職者の継続的な雇用、中途採用、シルバー人材センターなどへの外部委託を導入しながらサービス供給体制の確保に努められています。

エアコン購入支援

問 熱中症対策として、町は、高齢者世帯のエアコン購入費の支援をすべきではありませんか。

答 高齢者支援として、まずは個別支援ではなく、多く集まる公民館、集会所のエアコンの設置を行います。

おおいずみな み
大泉 奈美 議員



集会施設の長寿命化に向けた対策は

集会施設の長寿命化

問 人口減少と高齢化で各地区では修繕費の徴収などが厳しい状況になっています。現行制度では町の補助率は2分の1となっています。補助率を上げる考えはありますか。

答 長寿命化になりやすと補助要綱の抜本的な改正を要するものと思われます。時間をかけても地元負担について地域と協議して適切な補助のあり方を取りまとめたいと考えています。

子ども達のスポーツ環境の充実を

部活動地域移行

問 スポーツ協会、保護者、学校関係者との対話会の進捗状況と方向性はどのようになっていますか。

答 令和4年度から一般町民、保護者、指導者、スポーツ協会との対話を重ねてきました。令和7年度は各部ごとに対話を行い、実情とニーズを把握し、予算化に向けて整理していきますと考えています。

クラブチーム支援

問 西村山地域で合同チームに移行した場合の町の支援はどのように考えますか。

答 クラブ化は今のところ流動的で不透明なところもごまいます。進捗状況をふまえ各競技のバランスをみながらできるだけ前向きに対応していきたいと考えています。

特集 ハラスメント疑惑 調査特別委員会報告

主なアンケートの集計

あなたは役場内で、3年以内ハラスメントを受けましたか。		回答数	割合
1	自身がハラスメントを受けたことがある	50	24%
2	ハラスメントを受けたことはない	155	76%
合 計		205	100%

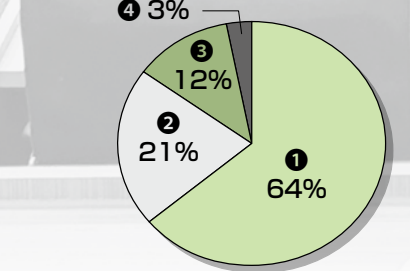
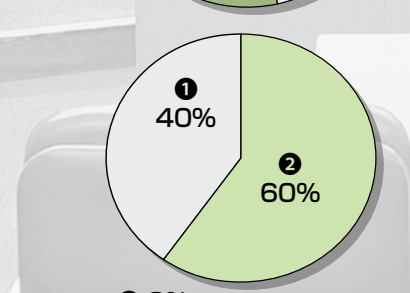
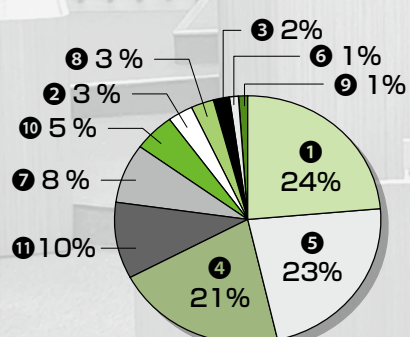
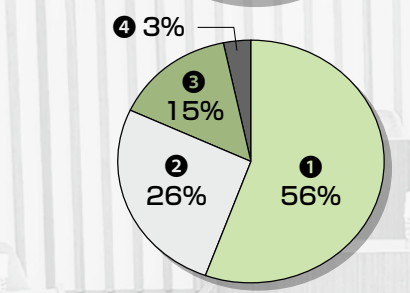
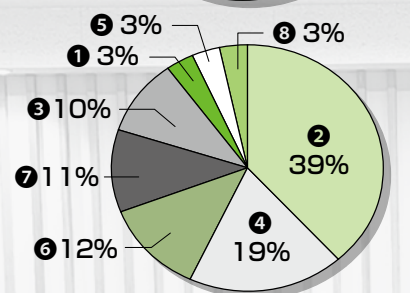
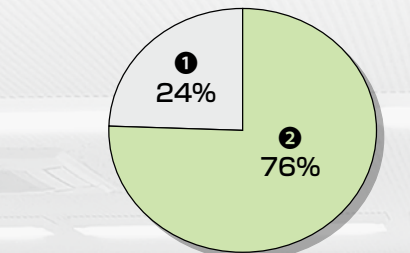
あなたはどんなハラスメントを受けましたか。(複数回答可)		回答数	割合
1	暴行・傷害(身体的な攻撃)	3	3%
2	脅迫・名誉毀損・侮辱・ひどい暴言(精神的な攻撃)	35	39%
3	隔離・仲間外し・無視(人間関係からの切り離し)	9	10%
4	業務上明らかに不要なこと、遂行不可能なことの強制、仕事の妨害(過大な要求)	17	19%
5	業務上の合理性なく、能力経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じる仕事を与えない(過小な要求)	3	3%
6	業務上の合理性なく、時間外・休日出勤を要求・命じること	11	12%
7	私的なことに過度に立ち入ること(個の侵害)	10	11%
8	一方的な配置転換を命じられた	3	3%
合 計		91	100%

誰からハラスメントを受けましたか。(複数回答可)		回答数	割合
1	町長・副町長・教育長から	35	56%
2	課長・課長補佐から	16	26%
3	係長・主任から	9	15%
4	役場内の同僚から	2	3%
合 計		62	100%

ハラスメントを受けてどのような行動をしましたか。(複数回答可)		回答数	割合
1	家族に相談した	24	24%
2	人事等の職場内の担当部署(相談窓口を除く)に相談した	3	3%
3	職場内の相談窓口相談した	2	2%
4	職場内の同僚に相談した	21	21%
5	職場内の上司に相談した	23	23%
6	労働組合に相談した	1	1%
7	職場とは関係のない医師やカウンセラーなど専門家に相談した	8	8%
8	弁護士に相談した	3	3%
9	公的な機関に相談した(労働基準監督署や都道府県労働局など)	1	1%
10	しばらく職場を休んだ	5	5%
11	何もなかった	10	10%
合 計		101	100%

ハラスメントを受けているのを見たり、他人から相談を受けたりしたか。		回答数	割合
1	ハラスメントを見たり相談を受けたことがある	84	40%
2	ハラスメントを見たり相談を受けたことはない	125	60%
合 計		209	100%

見たり相談を受けたハラスメントは誰が行ったものかですか。		回答数	割合
1	町長・副町長・教育長から部下へ	64	64%
2	課長・課長補佐から同僚へ	21	21%
3	係長・主任から同僚へ	12	12%
4	役場内の同僚から	3	3%
合 計		100	100%



委員長報告

西川町職員(会計年度任用職員・退職者含む)304人に対してアンケート調査を行い、219人から回答いただきました。所属職員の内訳は、現職員110人・会計年度任用職員71人・元職員25人(13人は所属内訳未記載)です。回答から多くの職員が悩みを抱えていることが分かりました。引き続き証人尋問を行い実態解明し、内容を精査していきます。

委員長 佐藤 耕二

経過

- 7月24日 第4回ハラスメント疑惑調査特別委員会
弁護士の推薦依頼状況確認、アンケート印刷・宛名記入、発送作業
- 7月30日 第5回ハラスメント疑惑調査特別委員会
アンケート集約
- 8月1日 第6回ハラスメント疑惑調査特別委員会
アンケート集約
- 8月22日 第7回ハラスメント疑惑調査特別委員会
アンケート集約、今後の進め方協議
- 9月18日 第3回西川町議会定例会
ハラスメント疑惑調査特別委員会 補正予算可決
- 9月19日 第8回ハラスメント疑惑調査特別委員会
弁護士面談・打合せ
- 9月20日 第9回ハラスメント疑惑調査特別委員会
証人尋問 7人(内2人は公開)
- 9月24日 第10回ハラスメント疑惑調査特別委員会
証人尋問 5人(非公開)
- 10月10日 第11回ハラスメント疑惑調査特別委員会
証人尋問

連絡先

ハラスメント疑惑調査特別委員会に対する町民からのご意見は、下記の議会事務局メールで承ります。
giji@town.nishikawa.yamagata.jp

地域と一緒にのまちづくりを学ぶ

総務厚生・産業建設常任委員会合同行政視察研修報告

今回の行政視察研修では、8月5日から7日にかけて新潟県の一市二町一村一団体を訪問し、それぞれの視察先でまちづくり事業への熱心な取り組みを伺いました。地域の特徴を生かしたまちづくり、官民連携などこれからのまちづくりの原点を学び得た視察となりました。

出雲崎町

子育ての取組み

令和元年より5年まで転入者が転出者より増加しました。「子ども計画」（妊娠期より大学まで）を作成し取り組んでいます。祝い金等の支給（妊娠祝い、出産祝い、高校・大学への通学支援、住宅支援等）を行っています。近隣市町でも同様の取り組みが行われると転入増でなくなりました。財政的支援も必要ですが、相談窓口などの

住民に寄り添った支援体制が重要であり、当町でも対策を検討する必要があります。

湯沢町

部活動の地域移行

平成26年から小中一貫校「湯沢学園」を運営しています。部活動の地域移行については、「湯沢町部活動の地域移行推進計画」により、令和8年度から部活動は行わず、総合型地域スポーツクラブ「ユースポ」主体の活動へ移行予定です。保護者負担は、月2千円程度を予定し、送迎は保護者負担だが送迎バスでの減免ができないか検討しています。活動は、勝利主義でなく人間育成の体制にしていくな定であります。当町でも生徒や保護者との対話と実施体制の検討を急ぐ必要があります。



▲湯沢町での視察の様子

防災教育プログラム

県の方針にもとづき1年生から9年生（中3）まで一貫して指導しており、年間の時数は3～6時間です。校区が広いので自主防災組織等との連携は行っていないが、子ども園や湯沢学園合同の子どもの引渡し訓練を実施しています。防災教育は、子ども期から計画的に実施して行く必要性を感じました。

指定管理者による地域医療の取組み

昭和32年に国保診療所として開設しましたが、市民の医療を守るために平成14年に保健医療センター（病院）を開設しました。病院の診療は、地域包括ケ

ア40床、介護医療院40床、6診療科（内科、小児科、外科、整形外科、眼科、歯科）です。病床利用率は地域包括ケア50.5%、介護医療院76.3%で外来患者は1日130人です。保健医療センターは病のほかに健康増進施設（温泉、温泉プール）、総合福祉センター機能を有した施設です。平成18年より病院の運営を公営社団法人地域医療振興会へ移行（指定管理）しています。令和6年度の病院への繰出しは当町と同程度でありました。医師を含む医療スタッフの確保や運営は全て地域医療振興会が行っています。地域医療振興会は過疎地や離島を中心に84施設の運営を担っています。

伊彌彦ブランド

新潟県弥彦村で作られている特別栽培米コシヒカリのブランド米です。農薬や化学肥料の使用を50%以上減らして栽培、強い旨みと粘りが特徴。小学生の投票で、平成28年4月ブランド名を決定し、新潟県特別栽培米認証を受けたコシヒカリで弥彦村長が名称の使用を許可したものを、「神の米」として販売促進につなげています。

伊彌彦えだまめ

50年以上の歴史がある極早生「弥彦むすめ」と7月以降の品種「茶豆」を再構築しイメージアップを図り、令和3年度からブランド化しました。枝豆は規格外が多く、イメージアップと販売促進を図るためにもブランド化が必要であることから行われた。

五泉市

花で交流人口拡大

五泉市では交流人口拡大のため「五泉四華花のリレー」と呼ばれる主要観光政策としています。



花シリーズ①水芭蕉。面積2.1haに約3万株の水芭蕉公園にあります。



花シリーズ②桜。村松公園には希少品種の穂先彼岸八重桜など3000本あり、八重桜から抽出した細抱水を練りこんだ商品開発なども行っています。

花シリーズ③チューリップ。チューリップ祭りは今年で38回目、面積3ha、150万本、22品種があり、花の回廊「リデフル」は全長30m、高さ24m、チューリップ24万本がセッ



トされます。また、花いっぱい運動は商店街等で23万本、1500鉢が配置されます。



花シリーズ④ぼたん・しゃくやく。花木まつりは今年で36回目。展示園には120品種、5000株が植樹され、入込客数は約67万人です。

その他、ユリ27万本、ひまわり57万本を出荷しています。力を入れている農産物としてさといもがあり、米の減反政策で転作品目として導入、平成元年に「きぬ乙女」と命名しブランド化しました。平成2年に大嘗祭に供えられ全国的に知られるようになりました。

視察を終えて

今回の視察研修を通して地域の特徴を生かし、また、伝統を守りつつ時代に合ったまちづくりを、住民と行政が一緒になり、しかも自然体で取り組んでいることが大きなちからになっていることを強く感じました。西川町の課題や今後のまちづくりについて、参考になった研修でした。

議会の動き

議会全員協議会

■9月3日 令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率ほか

議会運営委員会

■8月26日 令和7年第3回定例会の運営
■9月5日 令和7年第3回定例会の協議

総務厚生常任委員会

■8月5～7日 常任委員会合同視察研修
■9月9日 行政評価ヒアリング
■9月30日 行政評価項目検討

産業建設常任委員会

■8月5～7日 常任委員会合同視察研修
■9月9日 行政評価ヒアリング
■9月30日 行政評価項目検討

広報公聴常任委員会

■7月15日 山形県町村議会議長会広報研修
■8月28～29日 全国町村議会議長会広報研修
■9月9日 議会だより134号編集会議
■9月19日 入稿前編集会議
■9月24日 第1回校正
■9月26日 第2回校正
■10月1日 第3回校正
■10月7日 第4回校正、校了

決算特別委員会

■9月3日 審査日程等の確認
■9月8日 決算説明、質疑（特別・企業・一般会計）
■9月10日 決算説明、質疑（一般会計）
■9月11日 決算説明、質疑（一般会計）
■9月12日 決算説明、質疑（一般会計）
■9月12日 付託案件の審議

議会の傍聴にお越しく下さい

議場で行う本会議や特別委員会はインターネットで中継しているほか、過去の映像を視聴することもできます。ぜひご覧ください。

面倒な手続きは何もありません。
ぜひお気軽に！
次回定例会は12月です
(12月3日からの予定)

わたしたちのすっだいこと!

まちづくり団体活動補助金
交付団体紹介

おれんじルーム

代表 大泉 奈緒子さん(海味)

どんな活動をされていますか

おれんじルームは学校に行きたいけれど行けない、学校に行きたくない、そんな子を持つ親のための会です。月に一度の集まりでは、こんなときどうしてる?これって大丈夫かな?そんな悩みや不安を話して、ほっと一息つくことができる時間になっています。親が笑顔でいることが子どもにとって一番の安心につながると思います。

また県内各地の親の会との連携もあり、情報の共有や勉強会も行っています。

秋には通信制高校を中心とした進路の情報交換会を行い、実際に経験した方のお話を聞いたり、学校の資料を共有したりして、参加者の気持ちに寄り添った会になっています。

補助金はどのように使われていますか

令和5年度には二つの講演会を開催しました。一つは文科省の担当者をお招きして「COOOTOプラン」について

お話しして頂きました。学校に行けなくても誰でも学びの保障が受けられるというもので(教育機会確保法)、町内外から約80人の参加者がありました。

もう一つは山形県立保健医療大学の安保教授による「子どものSOSに 대응するための受け止め方とつながりの工夫」について開催しました。講演会後にはグループごとに話し合い、そこから新しい繋がりが出来ました。

学校に行けないことを否定するのではなく、受け入れて見守っていくためには「知ること」が必要です。

このような講演会を開催することができたのもすっだい補助金のおかげです。とても感謝しています。ぜひ継続して頂きたいです。

議会だよりはご覧になっていますか

議会の内容を詳しく知ることができるので、毎号必ず読んでいます。これからもわかりやすく伝えていただければと思います。



▲講演会の様子

表紙

から

1コマ



西川小学校5年生28人が慣れない稲刈り鎌を使って、黄金色に成長した学校田の稲刈り作業を行いました。

先日の大雨で水もある中、泥んこになりながら、刈り取り・結束・杭掛け作業を全員で協力しながら収穫祭で美味しいご飯を食べられるように頑張りました。

編集後記

自然豊かな西川町の色合いが出る紅葉の季節となりました。

今夏の猛暑で水不足となり、米の生産をはじめとして農作物には大きな影響がありました。実りの秋を迎えましたが熊の出没情報が多数寄せられ、収穫の際は注意が必要です。

広報公聴常任委員会では全国の広報研修会に参加してきました。手に取って読んでいただける広報紙をめざしていきます。ご意見がありましたらご連絡下さい。よろしくお願いします。

(大泉 奈美)

《発行・編集責任者》

議長 菅野邦比克

《編集委員》

委員長	飯野 幹夫
副委員長	大泉 奈美
委員	佐藤 仁
委員	佐藤 大